

金融危機 日本人は悲観的

金融危機の影響は相対的に小さいはずなのに、日本人が先行きに最も悲観的だ。日本リサーチセンター(東京)など十カ国の民間機関が各国で一斉に行った調査で、こんな結果が明らかになった。政府の対応への不満が色濃く出ており、同社は「国民性に加え、政治不信が背景にあるようだ」と分析している。

調査は昨年十一月二十一日(日本は十一月二十一日)、日米欧やロシア、中国、インドなど計十七カ国で実施。電話やインターネットを使って質問し、約一万四千六百八十八人(同千四百八十八人)から有効回答を得た。

それによると、「今後三カ月で経済が良くなる」と回答したのは、日本ではわずか2%で、金

17カ国調査 英と並び1番

融危機で深刻な打撃を受けた英国と並び最低。IMFの支援を受けるインドが39%と最も楽観的。一方、金融危機後の政

府の対応について十段階に「悪くなる」と答えた日本人は英国(78%)に次ぐ70%に達した。

また、「今後一年で世帯収入が増える」と考えている日本人も11%と、下から三番目。通貨ウォンが急落した韓国(67.0%)と最も高かった。

国際通貨基金(IMF)の支援を受けるインドが39%と最も楽観的。一方、金融危機後の政府の対応について十段階に「悪くなる」と答えた日本人は英国(78%)に次ぐ70%に達した。

また、「今後一年で世帯収入が増える」と考えている日本人も11%と、下から三番目。通貨ウォンが急落した韓国(67.0%)と最も高かった。

政治不信色濃く